



## ■内澤院長先生より

診療科：総合診療科・内科・外科・循環器内科・  
腎臓内科・小児科・眼科・  
リハビリテーション科・人工透析



### 《自院紹介》

当院は平成12年4月1日より新築オープンし99床の一般病床を有する病院として、美幌町の保健・医療・介護・福祉の連携による中核的な病院としての役割を担い、美幌町で唯一の救急告示病院として北見赤十字病院と連携し地域の基幹病院として、より一層快適で信頼される病院作りを目指しております。

特に、新築オープンし10年以上経過したことからCT・MRI・マンモグラフィなどの高度医療機器の更新を行い、高度医療に対応した医療機器の導入整備を行っております。

また、平成18年には患者様にとって最もふさわしい栄養療法の支援に取り組むため「栄養サポートチーム(NST)」を設置し、平成19年には日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設となりました。

特徴的な診療科として、人工透析27床を有し2部透析も行い、リハビリテーション科では2名の理学療法士を配置するとともに、本年6月には地域包括ケアシステムの構築のため地域医療連携室を開設し、病診・病病連携を強化による地域医療の充実に取り組んでおります。



## 美幌町立 国民健康保険病院



〒092-0004

美幌町字仲町2丁目38番地

TEL (0152) 73-4111

院長：内澤 公伸

出身大学：札幌医科大学医学部

所属学会：日本外科学会・日本消化器外科学会・

日本臨床外科学会・日本胃癌学会

資格：消化器外科認定医・麻酔科標榜医

専門分野：消化器及び一般外科

《診療時間のご案内》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前8:30~12:00	○	○	○	○	○	×	×
午後1:00~5:15	○	○	○	○	○	×	×

※診療科により診察日が変更となりますのでご確認のうえ受診願います。

# 登録医紹介

## ■山川院長先生質問コーナー

診療科：産婦人科

趣味は何ですか？

—— 蕎麦喰い・クラシック音楽鑑賞  
(昔は少し演奏もしていたのですが・・・)  
ささやかな家庭菜園

座右の銘は何ですか？

—— 「仲良きことは美しき哉」、最近「倍返し」も好きです。

これだけは譲れない「こだわり」は何ですか？

—— 逆に細かい事にこだわらないこと、ケ・セラ・セラ。

特技は何ですか？

—— 昔は、いつでもどこでも眠れたこと。今は、自然に朝目覚めること(ただの老化?)



## やまかわ ウィメンズクリニック



〒090-0804

北見市桜町5丁目8

TEL (0157) 66-0011

院長：山川 康

出身大学：札幌医科大学(昭和59年卒)

出身地：札幌市

所属学会：日本産婦人科学会 専門医

専門分野：産婦人科プライマリーケア

・北見網走地区産婦人科医会 代表

《診療受付時間のご案内》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後2:00~5:00	×	○	×	×	○	×	×
午後2:00~6:00	○	×	×	○	×	×	×

※第1・3・5土曜日は休診です。

### 《1、自己紹介・アピール》

北見赤十字病院に13年ほど勤務した後、桜町にクリニックを開業して8年目になりました。外来だけでなく、できることは限られるのですが、患者さんのニーズはあります(僕はニッチ医療と呼んでいます)。また、再来の予約の方を優先しているの、待ち時間が少なめというのもセールスポイントです。

### 《2、医療連携について》

基本は人間関係にあります。産婦人科は、がん治療や産科救急など自科だけ(もちろん、小児科や麻酔科・内科ほか)でも連携が重要な科です。我々は、地域医師会の枠を越えた北見網走地区産婦人科医会(かつては遠紋地区も含んでいた)という集まりで、年に4-5回、学術講演会を開催しています。ここに管内の産婦人科医をはじめ、講師で招聘した道内3大学の教授、パラメディカルほかが集うことで、互いに顔の見える連携ができていると思います。

### 《3、最近の出来事》

水沼先生(産婦人科第一部長)とは、大学も医局も同期なのですが、本格的な(家族ぐるみの)付き合いは、北見日赤に来てからの事です。ただし、僕の日赤時代は、寝ている時も含めて家内と家で過ごした時間よりも、院内で水沼先生と過ごした時間のほうが長いはず。(笑)その彼には、某荒井さんのご主人という山菜採りのマスターがいて、9月某日に僕にもきのご採りのお誘い…畑しめじ、ほりほり、落葉きのこ、と秋の山からの贈り物を頂きました。それはそれは美味でした!

# 整形外科外来紹介

整形外科部長 菅原 修

当院はオホーツク医療圏のセンター病院および救命救急センターを有し、平成23年度からは夜間急病センターを市に移管し、2次〜3次救急を主に担っております。他院から紹介された方や重症の方、緊急処置を要する患者さんが多いのが特徴です。

整形外科の対象となる疾患は、運動器(骨・関節・靭帯・筋肉・神経)全般であり、先天性疾患から変性疾患(新生児から高齢者)、さらに事故・外傷など広範囲にわたります。

センター病院の整形外科として、入院治療を主として幅広く治療を行っています。救命救急センターを有し、2次・3次救急を担っているため、入院・手術患者さんの7割は外傷患者です。

## ○整形外科の変遷と予約・紹介外来

整形外科外来は昭和57年4月に旭川医大からの1名体制で開設され、徐々に増員されていきました。平成元年(3名体制)に私が1年在籍していた頃は、救急車もあまり来ず全館当直をしてもほとんど呼び出されないのんびりとした病院でした。その様相が一変したのは南館が完成した平成4年からです。私が2度目の赴任となった平成6年(10名体制)から5名体制となりました。その後も地方センター病院・救命センターとしての病院の拡大に伴い当科も増員が続き、平成11年の夜間急病センター併設と同時期に最大7名体制となりました。当時は外来1日平均200人前後、入院

70人前後、年間手術件数880前後でした。

平成14年から急性期病院として入院日数を短くする体制となった時期に6名へ減員となり、夜間呼び出しや病棟業務(患者さんの回転が速いため)も激増しました。しかし、外来は相変わらずフリーアクセス状態で、新患30〜40名を含む200名以上の患者さんが外来にあふれ、午前中受付の患者さんが夕方までかかってしまうことも少なくありませんでした。予定&臨時手術を終え病棟に行くのは消灯過ぎという日々が続ぎ、スタッフの疲弊が重なり医療事故の危険性も懸念されました。地域センター病院・急性期病院の整形外科としての本来の役割である入院・手術を担う体制が限界となってきたと感じ、平成16年から病院初の「予約・紹介外来」(救急患者以外)とさせていただきます。

地域医療連携室や病院広報を通じ連携病院や地域住民に説明し、ご理解いただくよう努めてまいりました。当初は患者さんからの苦情もありましたが、約10年が経過した現在(時代も追いついてきておる)、だいぶ定着した感があります。しかし、いまだに紹介状を書いてもらうために1日平均85人前後、入院50人前後、年間手術件数720件前後です。新研修医制度の影響で大学医局員が減り、当科も医師7名から5名体制と減員する中、地域のセンター病院・急性期病院の整形外科として維

持していくために、病診連携と予約・紹介外来へのご理解とご協力をこれからも何卒よろしくお願い致します。

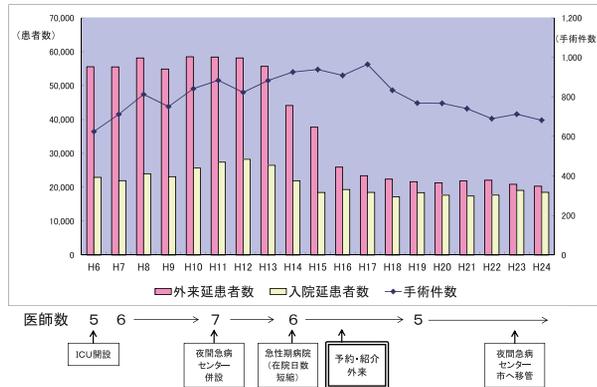
## ○メデイカルクラークの配置

当科は平成22年からメデイカルクラーク(医師事務作業補助者)を配置しています。医師の事務作業を代行することで医師の負担を軽減し、医療の質の向上と患者サービスの改善につなげることを目的としております。整形外科は、生命保険の入院診断書だけでなく、労災・自賠責の書類や、介護保険・自立支援の意見書や、特定疾患・身体障害・義肢装具の意見書など、膨大な書類作成業務があります。また、整形外科にとってX線フィルムは診療の「命」とも言うべきものでありますが、新病院移転に向け、古いフィルムを取捨選択しPACSに取り込む作業を日夜進めています。また、学会資料の集計などの事務作業もあります。これらの業務をメデイカルクラークが担うことにより、医師だけではなく看護師や受付事務が本来の専門業務に集中できることへもつながっており、外来診療が円滑に行われるようになっていきます。

## ○外来診療

予約・紹介外来診療は原則、月曜から金曜の午前中に行っております。月曜と金曜の午後には特殊外来として側彎症外来、火曜の午後には乳児股関節検診、月曜と金曜の夕方には学生外来を行っています。

【整形外科】年度別 外来、入院患者数と手術件数



スタッフは医師5名、看護師6名、看護助手1名、メデイカルクラーク1名、受付事務1名で診療を行っています。

日頃、北見市内およびオホーツク地域の医療機関の先生方から様々なご紹介をいただいております。今後更に質の高い対応をし、地域の医療に貢献できるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願致します。

**人間ドック 健診施設機能評価 Ver.2.0の施設認定を受けて**

健康管理センター 保健師長 松沼三千代

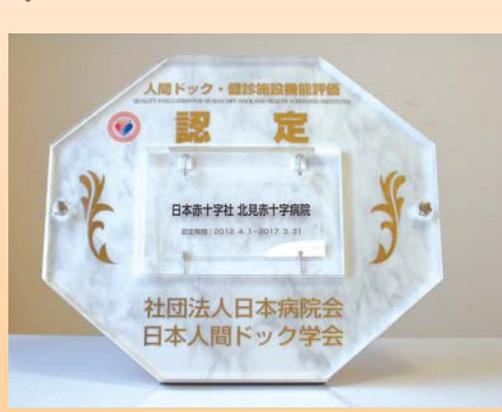


ドックの受診者が安心して健診を受けられることを目的として、大きく4つの領域に分けて計184項目を書面による調査と、直接面接を行いながらの実施調査により評価を受けました。評価の対象となるのは1日ドックと2日ドック(当施設ではH25年度より廃止)について受審をしました。

認定期間 H24年4月1日〜 H29年3月31日

1. 施設運営のための基本的体制について
2. 受診者の満足と安心について
3. 人間ドック健診の質の確保について
4. 運営の合理性について

以上の4つの大きな領域の項目について当健康管理センターでは適切であるか否かをそれぞれ184の小項目で評価をし、次に中項目では標準的な評価、優れた取り組みや体制の評価、全国的に模範となる評価にあてはまるかどうかを評価しました。



# PET-CT勉強会開催報告

がん対策委員会主催 PET-CT勉強会

『北見赤十字病院オホーツクPETセンター開設を控えて～  
PET診療の現状と今後の展望～』

講師：北海道大学 高次診断治療学専攻病態情報学講座  
核医学分野教授 玉木 永良先生  
座長：北見赤十字病院 第一放射線科部長 有本 卓郎  
開催日時：平成25年9月25日(水) 18:00～19:30  
開催会場：北見赤十字病院 東館4階 大講堂



平成25年9月25日(水)に当院東館4階大講堂にて北海道大学 高次診断治療学専攻病態情報学講座 核医学分野教授 玉木 永良先生を講師にお迎えし、PET-CT勉強会を開催いたしました。

今回は、大きく分けてPET-CT検査の特徴、FDGを用いた腫瘍検査、FDG-PET/CTによる新しい応用(心臓サルコイドーシス・脳神経領域への応用)、FDG以外の新しいPET薬剤について、実症例の画像スライドを使ってわかりやすく説明いただきました。

院内外、多種職にわたって92名もの参加がありました。アンケートでは「検査特徴や様々な知見を知ることができた。」「がんの進行度や再発の有無の判定に役立ってることがわかり、患者様へ検査の必要性を説明出来そう。」「基本的な症例から最新の症例まで紹介があって良かった。」「今後のがん診療に役立つと思いました。」などの声が聞かれ、PET-CTへの関心の高さを再確認する結果となっております。

オホーツク医療圏に出来るPET-CTを有効にお使い頂き、地元での高精度診断で地元の皆様のお役に立つことが出来れば幸いです。

今後も皆様のお役に立てるような勉強会、研修会を開催予定であります。FAX等でお知らせいたしますので是非ご出席下さい。(がん対策委員会)

## 北見赤十字病院 市民公開講座 「緩和医療について考える」

平成25年9月28日(土) 13:00～15:30

北見芸術文化ホール 中ホール

座長：第一放射線科部長 有本卓郎

### 演題、演者

- ：「緩和ケアって何だろう？」緩和ケア内科部長 後明郁男
- ：「緩和医療～消化器内科の立場から～」  
消化器内科部長 上林 実
- ：「当院緩和ケア内科の現状」看護部看護師長 部川玲子



平成25年9月28日(土) 13:00～15:30北見芸術文化ホール中ホールにて「緩和医療について考える」と題し、市民公開講座を開催いたしました。229名もの方にご来場いただき、市民の皆様の緩和医療に対する思いの深さを感じることが出来ました。当院で毎年開催しております、PEACEの医師向け緩和ケア研修会や、ELNEC-Jの看護師向け緩和ケア研修会に数多くの方に参加していただき、緩和ケアについて学んでいただいておりますが、今後益々緩和ケアを必要とされる患者様が増えるものと思います。当院の緩和ケア病棟が出来ましても、当院だけでは対応していけるものではありません。地域の皆様と協力し、患者さまのend of life careをより良いものにしていければと思います。来年度も各研修会を開催予定しておりますので、多くの医療従事者の方々にご参加いただければ幸いです。

## 平成25年度 1 日看護師体験を終えて



初めは緊張して表情が硬かった学生さんも病棟での看護体験やグループワークを通して笑顔が見られ、帰りには満足された表情で1日を終えていました。アンケートから、「私もこの仕事をやりたいという気持ちや勉強しなくてはという気持ちが高まりました。」「大変な仕事というのを身をもって理解出来たので、もっと看護師になりたいと思える様になった。」「患者様に、ありがとうと言われた事がとても嬉しかった。看護職を理解するというのが目標、完璧ではないが達成できたと思う」などの感想が聞かれ、看護師の仕事がイメージでき、進路や将来をより具体的に考える機会となった有意義な1日であったと思います。(看護部)

8月2日(金)、高校生を対象に「1日看護師体験」を実施しました。北見北斗高校・北見柏陽高校・北見緑陵高校・北見藤女子高校・留辺蘂高校からの1年生34名、3年生1名の計35名(女子34名、男子1名)が参加されました。例年猛暑になることが多く、今年度も朝から暑い中での活動を覚悟しましたが、今年は気温はそれほど高くなく過ごしやすかったです。学生の皆さんは初めての「二フオーム」に着替えると、緊張した面持ちで大講堂に集合されていました。上野看護部長が不在のため八矢看護副部長が挨拶後、病棟担当者と共に各病棟へ分かれて、午前は清拭や洗髪・手浴・足浴・入浴介助・血圧測定等の看護体験をしました。午後からは救急外来で医療機器や設備を見学し、実際に救急車で患者が搬送されてきた際に、どのように診療は行われているのかなど体験をまじえながら知ることができ、充実した時間を過ごせたようでした。

# 『オープンカンファレンス 特別講演会』を開催

7月18日に、平成21年度より開始いたしました内科系3診療科オープンカンファレンスの5周年記念の特別講演会として、札幌医科大学 消化器・免疫・リウマチ内科学講座 教授 篠村恭久先生をお招きし、当院大講堂において開催いたしました。会場には院外の関係者も含め、53名の参加者がありました。

当院の吉田病院長が座長となり、以下の内容で進められました。

## 【特別講演】

### 「発癌リスクを考慮した消化管病変の治療戦略」

札幌医科大学 消化器・免疫・リウマチ内科学講座  
教授 篠村 恭久先生



## H25年度 内科系3診療科 オープンカンファレンス症例検討内容

題名	発表者
第1回 「当院健康管理センターの経鼻内視鏡検診にて診断された早期胃癌の一例」－最新式内視鏡システム導入による今後への期待－	発表者 消化器内科 上林 実
「貧血を繰り返す88歳女性」	発表者 内科・総合診療科 永嶋貴博
第2回 「慢性リンパ性白血病患者で意識障害をきたした一例」	発表者 内科・総合診療科 松田 繁
「硝酸薬の冠動脈注入により改善した冠攣縮による急性心筋梗塞の1例」	発表者 循環器内科 徳原 教
第3回 「低カリウム血症と脂質異常を認めた若年男性の一例」	発表者 内科・総合診療科 飯坂 徹
「脾仮性嚢胞に対して超音波内視鏡下ドレナージが有効であった一例」	発表者 消化器内科 宮本 秀一
第4回 「発癌リスクを考慮した消化管病変の治療戦略」	特別講演会 札幌医科大学 消化器・免疫・リウマチ内科学講座 篠村 恭久教授
第5回 「条件付きMRⅠ対応ペースメーカー理込後の患者さんのMRⅠ施行について」	発表者 循環器内科 斉藤 高彦
「症例 79歳 女性」	発表者 内科・総合診療科 金塚雄作
第6回 「胃・十二指腸ステントについて」	発表者 消化器内科 杉浦 諒
「61歳男性、複視」	発表者 内科・総合診療科 杉本 明彦

※第6回まで終了しております。

## ●開催予定日表

開催予定日	時間
平成25年11月21日(木)	午後18時30分
担当診療科	
内科・総合診療科 循環器内科	
平成26年 2月20日(木)	午後18時30分
担当診療科	
内科・総合診療科 オホーツク医療環境研究講座	

場 所 北見赤十字病院 東館4階 大講堂A

# 平成25年度北見地域救急災害総合訓練 兼 北見市防災総合訓練参加

平成25年8月30日(金)13時から北見市川東常呂川右岸河川敷地を会場とした災害訓練に38団体が参加し、各機関が職種に応じた特徴を發揮、表現されておりました。今回の訓練は展示型訓練と呼ばれ、シナリオに沿って実施する訓練です。一方、ブラインド型訓練があり、これは災害が発生した不測の事態に機関、個人が行動や対応が求められ、日程だけ伝え時間・場所・訓練概要を関係機関に知らせず、突然関係機関への通知・参集・実働を行なう本番に近い訓練であります。またこの訓練は、チーム、個人が特別な訓練を受け、認められた隊員が行なう訓練です。

災害が発生した場合、災害対策本部の立ち上げ(指揮・統制)、関係機関が情報を共有する(情報伝達)ことが重要な役割を担い、今回の訓練でも北見市を軸とした指揮・統制の下訓練が行なわれました。

想定された自然災害に伴う猛烈な突風、土砂災害により多数の負傷者が発生し、当院が医療救護支援の派遣要請を受け、赤十字常備救護班が出動・医療救護支援にあたりました。

北見市の訓練では、北見救急法赤十字奉仕団が当院救護班と連携し救護することとなっていることから、現場到着後、エアートント救護所設置、救護資機材の設置、応急手当を共働致しました。

医師は、生理学的・解剖学的評価(PAT)による二次トリアージを行い、適切に傷病者の治療の優先順位を判断した上で、必要に応じて消防救急隊が病院搬送を行い、また、看護師等に処置の指示を出しました。本番前に一度、訓練を実施しましたが、普段の力を存分に發揮し無事役目を終えることが出来ました。また、当日は、前日から続く雨の中、水溜りが出来て足場は悪い状態で、班員は責務を全うしておりました。

この書面をお借りし当院が医療救護活動を実践している背景をご紹介します。

日本赤十字社は、全国47都道府県全ての支部、医療施設、血液センターに救護班を配備しています。その理由は、150年前に遡り赤十字が創立した背景・歴史から始まり今日に至るまで、日本赤十字社法で救護を規定、また、国内法である災害救助法において救助への協力義務が規定、更に、災害対策基本法及び大規模地震対策特別措置法により「指定公共機関」に位置付けられ、法的にも災害救護活動は組織として使命としております。

過去の活動は、国内のみならず海外まで職員を派遣しております。国内の災害では、記憶に新しいところで新潟県中越沖地震、阪神・淡路大震災、東日本大震災等に超急性期から慢性期まで日本赤十字社が誇る人的・物的な資源を有効に活用し、切れ目の無い救援活動を実践しています。

北見赤十字病院は、オホーツク管内の災害拠点病院として不測の事態に備え、施設設備・人的養成・資機材確保などを行いつつ、理念「人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し地域の期待と信頼に応えます」に基づき、地域住民のために安心・安全な医療を提供して参ります。(事業課)



# 「サイバー攻撃・サイバー犯罪に対する 協定書」の締結

北見方面サイバーテロ対策協議会 会長  
北見赤十字病院 事務部長 前川 茂 晃

近年、IT社会の急速な発展に伴い、各種社会基盤も情報ネットワークに依存する形態となり、これらに対する電子的攻撃により社会を混乱に陥れようとする「サイバーテロ」の発生が懸念され、今後、サイバー攻撃を企てる者は、様々な国際会議や地方における行事の開催をとりえて、サイバー攻撃により各種会議や行事の妨害から、社会・経済の混乱を起こす可能性も否定できない状況にあります。

このことから、サイバー攻撃及びサイバー犯罪に対する共同対処を実施するに当たり、北見市役所、網走市役所、紋別市役所、北見信用金庫、遠軽信用金庫、網走信用金庫と当院の7事業所で、去る7月2日に北海道警察北見方面本部と「サイバー攻撃・サイバー犯罪に対する協定書」の締結を結びました。

協定書には、北海道警察北見方面本部へ通報する事案として

- ① 基幹システム(国民生活又は社会経済活動に不可欠なサービスの安定的な供給、公共の安全の確保等に重要な役割を果たす情報システムなど)に対する電子的攻撃による被害
- ② 基幹システムにおける重大な障害で電子的攻撃による可能性が高い被害
- ③ 上記に掲げるもののほか、社会的影響が大きい事案等の例が記載してあります。

また、このことを受けて、サイバーテロによる被害を未然に防止するための情報交換、情報提供、サイバーテロ発生時の被害拡大防止等について、迅速的確な対応を図ることを目的として、7月31日には「北見方面サイバーテロ対策協議会」が発足したところです。

この事業では、

- ① サイバー攻撃等未然防止対策のための諸対策の推進
- ② サイバー攻撃等発生時における警察との緊密な連絡・協力体制の構築
- ③ 会員相互の情報交換の推進等の活動があります。

協議会会長には、不肖ながら私が任を担うことになりましたが、昨今のサイバーテロに関する報道を見ても、そのターゲットは様々な分野に及んでおり、患者様をはじめとする膨大なデータを管理する我々医療機関への攻撃も例外ではないと脅威に感じております。

完璧なセキュリティはなく、セキュリティは必ず破られるものだと聞いたことがありますが、改めて情報管理の重さを感じているところです。

今後の協議会の運営に当たっては、皆様からのお知恵をお聞きしながら進めていきたいと思っておりますので、趣旨をご理解いただき、ご意見、ご要望またはご相談などあればご連絡いただきたいと思います。

# 外来のご案内

## 診療科目

- ★内科・総合診療科 (完全予約制)
  - ★消化器内科
  - 神経精神科
  - ★循環器内科 (完全予約制)
  - 小児科
  - 外科
  - ★整形外科
  - 形成外科
  - ペインクリニック (心療内科-休診)
  - 脳神経外科
  - 皮膚科
  - 泌尿器科
  - 産婦人科
  - 眼科
  - 頭頸部・耳鼻咽喉科
  - ★放射線科
  - 麻酔科
- ★：紹介状が必要です

## 休診

- 土曜日
- 日曜日
- 祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日 (日本赤十字社創立記念日)

## 事前予約について

紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。(但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。)

## 診察カード

診察券は全科共通で使用いたします。ご来院時に必ずお持ち下さい。

## 保険証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。

# 外来受付のご案内

～受付時間～ { 午前 8:00～11:00 }  
 { 午後 1:00～3:00 }

○：受付しております  
 ☆：紹介状が必要です  
 -：手術・検査等

\*ご不明な点は受付にご相談下さい。

平成25年9月25日現在

科名	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科・総合診療科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-
消化器内科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-
循環器内科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-
神経精神科	○*	-	○*	-	○*	-	○*	-	○*	-
小児科	○	専門外来	○	専門外来	○	専門外来	○	1ヶ月健診・予防接種	○	専門外来
外科	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
整形外科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-
形成外科	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○
脳神経外科	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-
皮膚科	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-
泌尿器科	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
産科	○	○	○	-	○	○	○	-	○	専門外来
婦人科	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-
眼科	○	○	○	-	-	-	○	-	○	○
頭頸部・耳鼻咽喉科	○	学童外来	○	-	○	-	-	-	○	学童外来
放射線科	☆	-	☆	-	☆	-	☆	-	-	-
ペインクリニック	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
心療内科	休診									
麻酔科	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-

～診療時間は8:30開始となっております。診療科により異なりますので、ご了承願います～  
 専門外来、学童外来、1ヶ月健診、予防接種は、事前に予約が必要です。

土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)・5月1日(日本赤十字社創立記念日)は休診いたします。

**注)※印のある場合～他院に同じ症状で現在通院中の方は、「紹介状」が必要となります。**

\*緊急時は内科・総合診療科、消化器内科、循環器内科、整形外科、放射線科を含め、全ての科で対応させていただきます。

# 完全フィルムレス開始のご案内

当院では、約20年前のPACS導入以来、地域の先生方のご理解とご協力の下、放射線科医読影のフィルムレスを進めて参りましたが、平成26年4月の北見赤十字病院 オホーツクPETセンターの開設を機に、完全フィルムレスを実施する運びとなりました。下記ご確認の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

## 完全フィルムレス開始日程 平成26年4月1日(予定)

- 北見赤十字病院オホーツクPETセンター開設 (PET/CT、MRI、CT、X線写真、その他の画像診断)

※尚、フィルムレス開始にあたり、各医療機関にて発生する諸問題の改善策として、PC・モニタの貸出しや操作研修会の開催も予定しております。その他の問題やご意見等あれば地域医療連携室までご連絡下さい。

### 【経緯】

当院では、地域の先生方のご理解とご協力の下、予てよりフィルムレスを進めて参りましたが、お陰様を持ちまして、現在では、その大部分についてフィルムレスを実現することができました。深く感謝申し上げます。

来年4月に稼働を予定しますPET/CTにつきましては、出力画像が千枚を超え物理的に出力が困難となりますことから、併せて、CT、MRI、その他の画像を含めた完全フィルムレスを実施する運びであります。

今後も、来年4月の完全フィルムレスに向け、鋭意努力する所存でございます。フィルムレス開始にあたり、ご不便をお掛けする点もあろうかと存じますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

# お知らせ MRI検査に関して

このたび、MRI対応ペースメーカー装着患者で、メドロニック、セントジュードメディカル社のMRI対応カードを所持している患者様のMRI検査が可能になりました。循環器内科の受診後、検査可能と判断された方が対象となります。詳細に関しましてはお問い合わせ下さい。

地域医療支援病院



北見赤十字病院

【理念】

人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し地域の期待と信頼に応えます。

【基本方針】

1. 真に患者本位の医療を提供する、モラルと技術の高い病院を目指します。
2. 二次～三次の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します。
3. 職員が成長でき、働く満足度の高い病院を目指します。
4. 健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に還元します。

【患者様の権利】

1. 誰もが年齢・性別・人種・職業などに関係なく公平に医療を受ける権利があります。
2. 誰もが一人の人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
3. 誰もが分かりやすい言葉や方法で、理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 誰もが納得したうえで自らの意思で医療行為を選択または拒否する権利があります。
5. 誰もが説明に納得できない場合は他の病院・他の医師に意見を求めること(セカンド・オピニオン)ができる権利があります。
6. 誰もがプライバシー(個人情報保護法)を厳格に保護される権利があります。
7. 誰もが自分の診療記録の情報を得る権利があります。

【患者様へのお願い】

1. 患者様及び御家族の方は、患者様の健康状態、アレルギー歴、病歴等について出来るだけ正確にお伝え下さい。
2. 医療スタッフの説明を良くお聞きになり、ご理解のうえ指示に従って治療や検査などの医療行為をお受け下さい。
3. 病院内では秩序を保ち、他の患者様のご迷惑にならない様をお願いいたします。
4. 医療費は速やかにお支払い下さいますようお願いいたします。
5. 当院は臨床研修病院として、卒前・卒後研修教育を担っています。医療専門職の育成にご理解・ご協力をお願いいたします。

北見赤十字病院 地域医療連携室

受付時間:月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:00迄  
 TEL0120-018-299 FAX0120-018-599

ご意見、ご要望、お問い合わせがございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。E-mail:renkei@kitami.jrc.or.jp